

「令和4年度がん進展制御研究所 共同利用・共同研究拠点研究成果報告会」を開催

2023年2月17日

2023年2月15日（水）、共同利用・共同研究拠点事業の一環として「令和4年度がん進展制御研究所 共同利用・共同研究拠点研究成果報告会」を開催しました。今年度は3年ぶりの対面式とオンラインを併用したハイブリッド開催となりました。報告会は、中村慎一理事の開会の挨拶に始まり、今年度、当研究所との共同研究課題として採択された59研究課題の中から、7課題の研究代表者7名による研究成果報告が行われました。報告会には、学内外の研究者並びに大学院生ら133名（うちオンライン73名）が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。今回の成果報告会での交流が、今後のがん研究のさらなる発展につながることを期待されます。



開会挨拶 中村 慎一 理事



進行役 須田 貴司 教授

## 成果報告 1



座長 田所 優子 助教



高知大学 樋口 琢磨 先生



名古屋大学 新城 恵子 先生



宮城県立がんセンター研究所 田沼 延公 先生

## 成果報告 2



座長 馬場 智久 准教授



順天堂大学 折茂 彰 先生



北海道大学 山村 凌大 先生



京都大学 谷村 信行 先生



京都大学 寺井 健太 先生



閉会挨拶 松本 邦夫 所長

## 質疑応答など会場の様子





[令和]  
4年度

金沢大学がん進展制御研究所

# 共同利用・共同研究拠点 研究成果報告会

13:00 ~ ● 開会のあいさつ 中村 慎一 (研究・社会共創・大学院支援担当理事・副学長)

共同研究成果報告 1 ● 座長：田所 優子 (がん進展制御研究所)

13:10 ~ ● microRNA 生合成制御による非アルコール性脂肪肝炎  
および肝細胞癌の発症機序の解明  
樋口 琢磨 (高知大学総合研究センター 分子生物学教室)

13:40 ~ ● ヒストン修飾酵素を標的とした脳腫瘍新規治療薬の開発  
新城 恵子 (名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍生物学)

14:10 ~ ● がん代謝ターゲット治療への感受性規定因子・獲得耐性メカニズム  
田沼 延公 (宮城県立がんセンター研究所 がん薬物療法研究部)

● コーヒーブレイク (14:40~15:00)

共同研究成果報告 2 ● 座長：馬場 智久 (がん進展制御研究所)

15:00 ~ ● 癌内線維芽細胞による癌悪性化機構  
折茂 彰 (順天堂大学医学部 病理・腫瘍学講座)

15:30 ~ ● 腸内細菌由来成分を活用した新規膵がん治療法の創出  
山村 凌大 (北海道大学遺伝子病制御研究所 がん制御学分野)

16:00 ~ ● がん幹細胞マーカー CD44 の発現を抑制する薬剤の探索  
谷村 信行 (京都大学大学院医学研究科 分子腫瘍学)

16:00 ~ ● 世界最深部の蛍光生体イメージング技術  
寺井 健太 (京都大学大学院医学研究科)

17:00 ~ ● 閉会のあいさつ 松本 邦夫 (副学長・がん進展制御研究所長)

2023 **2.15** ● 水 (13:00-17:10)

会場

金沢大学ナノ生命科学研究所 4階会議室  
& オンライン (Zoom)

成果報告会  
参加申込サイト

下記の URL または QR コードからサイトへ移動し、  
事前参加登録をお申込みください。

<https://forms.gle/Sv6TdEbAdo4KNK6S6>



金沢大学がん進展制御研究所  
Cancer Research Institute Kanazawa University

〒920-1192 石川県金沢市角間町  
TEL. 076-264-6702 (代表) FAX. 076-234-4527  
E-mail. kyoten@adm.kanazawa-u.ac.jp  
URL <http://ganken.cri.kanazawa-u.ac.jp/>



金沢大学  
KANAZAWA  
UNIVERSITY